



Full Bloom

No. 29

Full Bloom「満開」

三者面談 お世話になりました

先週末からの三者面談には、お忙しい中おいでいただき、ありがとうございました。短い時間でしたが、お子さんの進路について、有意義な話合いができました。

さて、面談時には「受験校確認書」「推薦受験希望書」の2通のプリントをお渡ししました。このうち、「受験校確認書」については、全員が提出するようになります。これをもって受験校を決定し、出願の準備を進めていきます。また、私立高校の推薦を希望する場合には、併せて「推薦受験希望書」を提出します。志願理由・志望動機や自己アピールなどを、本人・保護者が記入します。推薦での合格を目指すためには、中身の濃いしっかりとした内容を記載することが必要です。なお、学校・学科名については「東高」「聖光」などの略称ではなく、できるだけ正式名称での記載をお願いします(私立高校の「学校法人〇〇」は省略してもかまいません)。自分の受験校の正式名称を確認し、強い意志をもって入試に臨んでほしいと思います。なお、どちらもペン書きのうえ、本人・保護者がそれぞれ自署するようになっています。

これらの文書につきましては、**11月25日(火)までに提出**してください。面談が後半の日程の方は、改めてご家庭で話し合う時間が少なく、たいへん心苦しく思っています。その後の出願日程も差し迫っていますので、**期日厳守**をお願いします。ご心配なことがあれば、担任までご連絡ください。生徒本人・保護者の方とともに、納得のいく受験校の決定となるよう支援していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

<出願に関するおもな日程>

12月 1日(月) 私立高校WEB出願開始

福島成蹊 推薦 ~12/10 一般 12/11~12/19

桜の聖母 推薦・一般 ~12/16

福島東稜 推薦・一般 ~12/15

聖光学院 推薦・一般 ~12/19

学法福島 推薦・一般 ~12/15

志願者の氏名・住所のほか、出願の種類、志願学科(第1希望だけでなく第2・第3希望も)、および受験料納入方法など、必要事項を入力してプリントアウトしてください。この段階では、受験料は納入しないでください。

12月 8日(月) 私立高校WEB出願コピー提出締切(成蹊推薦、他は推薦・一般)

※担任の確認後、受験料を納入し手続き完了となります。期日を確認し、余裕をもって手続きをお願いします。各家庭で写真を添付・貼付したうえで受験票をプリントアウトし、保管してください。

県立高校WEB出願練習(~12/25)

12月15日(月) 私立高校WEB出願コピー提出締切(成蹊一般)

来週の予定

月日(曜)	1	2	3	4	5	6	行事等	給食	清掃	部活動	下校時刻
11/24(月)	勤労感謝の日 振替休日										
25(火)	火1	火2	火3	火4	火5	火6	「受験校確認書」「推薦受験希望書」提出	○	×	×	16:30
26(水)	月1	月2	月3	月4	※	※伊達方部学力向上授業研究会(5校時1組英語、2・3組は休職後下校)		○	×	×	14:40
27(木)	木1	木2	木3	木4	木5	1・2年期末テスト		○	×	×	15:10
28(金)	金1	金2	金3	金4	金5	B時程		○	○	○	17:15

＜こんな授業をしました＞ 英語科「わたしのイチ押し！」プレゼンテーション

「理想のリーダー像」「尊敬する人物」「私の好きな○○」のテーマから1つを選び、プレゼンテーションするという課題に取り組みました。予想通り(?)、ほとんどの生徒が好きな人物を選んで、英語で紹介文を書きました。自分の好きなタレントやユーチューバー、アニメやゲームのキャラクターの魅力を伝えるために、どの生徒も熱心に英作文を行っていました。原稿が完成したら、4人グループで発表し合い、付箋を使ってアイコンタクトなどを相互評価した後、メンバーを替えてもう一度発表しました。2回目には、始めに呼びかけの表現を付け加えるなどの工夫をして、自信をもって大きな声で堂々と発表していました。



タブレットに「推し」の画像を表示しながら、作成した原稿を読んでいます。



「アイコンタクト」「はっきりと」「英語らしく」を意識してプレゼンテーションします。

付箋にプレゼンテーションの評価をメモしています。



「アイコンタクト」ができていないかチェックするために、発表者を見ながら聞いています。



○ 自分の「推し」のいい所を、習った文法を使ってスピーチできた。“Do you know this person?”と言ったら、みんながうなずいてくれてうれしかった。【高橋桃萌音】

○ 「推し」のよさを伝えられたと思う。2回目は“Look.”を付けて、大きな声で発表できた。【菅野 充輝】

○ 自分の好きなものを相手にわかりやすく伝えるのは、とても難しかった。友達が「推し」のどこが好きなのが明確に分かったので、とても楽しかった。【八巻 里緒】

○ アイコンタクトや発音、声の大きさを意識して発表することができた。【伊藤 颯佑】

○ 自分の「推し」を知っている人がいてうれしかった。友達のスピーチを聞いて、いろんな人がいるんだと思った。【齋藤 詩織】

○ 言葉にして書くことで、「推し」のいいところがもっと見つかった。楽しかった。

【鈴木 瑛大】

○ 発音できる単語や文法が増えて、くわしく伝えることができた。【高橋 明良】

○ 「推し」のよさを伝えることができた。みんなの「推し」を聞くことができて楽しかった！

【横山 惺徠】

○ 発音や声量、効果的なアイコンタクトができた。「推し」の魅力を引き立てられるような文の構成力を高めたい。【佐々木鈴央】

○ 友達の「推し」が分かった。自分としては、アイコンタクトや声の大きさがしっかりできたと思う。【遠藤 颯人】

○ みんなの「イチ押し」を知ることができて、おもしろかった。【新井 陽森】